



上野小地区コミュニティ委員会には現在35団体が所属しています。今年はコロナ禍のなかで、活動が難しい状況ですが、例年は毎月第4水曜日に運営委員会を開催し、運営の打ち合わせや会員相互の連絡を行って活動しております。

コミュニティ全体で取り組む地域に向けた活動としては、夏の「盆踊り大会」や、社会教育登録団体が開催する「サークルフェスタ」と社会教育センターで同時開催する秋の「コミュニティ祭り」があります。また、「新年会」や「総会」など委員会内部の活動もあります。コロナが収束したら、新しい日常の中で今以上に地域の皆様と共に協力をして活動を続けたいと思っています。

運営委員長 中田 秀弘

●再開を願って

私たち上野バドミントンクラブは上野小学校体育館にて活動しています。若者からシルバー世代と幅広い年齢層の方々と共に、初心者から上級者までレベルに関係なく楽しく元気に練習に励んでいます。また、練習日程や大会予定を共有するため、ホームページを開設し、随時更新しています。

長い期間、続けていたいただいた諸先輩方により、ありがたくも昨年50周年を迎えることができました。古くから交流がある駒形バドミントンクラブとの交流試合、交流会ではたいへん盛り上がりしました。



しかし、今年に入り、コロナ禍の影響で体育館が使用禁止になり、活動停止の状態となりました。今まで、普通にバドミントンを楽しんでいた事ができなくなりました。今、普通にバドミントンをしたい、体育館の使用が可能になった際の、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を検討しており、

- ・ クラブ員のみ参加
- ・ 入出時には手のアルコール消毒、体調確認
- ・ ネット、ボールの設置は決められた者のみが行う
- ・ コート以外での待機中にはマスクをしてソーシャルディスタンスを保つ

など、活動の再開時には感染症対策をしっかりと行なって参ります。1日も早くみんなで楽しいバドミントンが再開できるように願っています。

中塩 恭子



富士小地区コミュニティ委員会の活動地域にある富士小学校は令和2年に創立120周年、富士幼稚園は創立70周年をむかえました。明治、大正、昭和、平成、令和と5つの時代にわたり歴史を積み上げてきました。おめでとうございます。

そして、当委員会は、平成元年に設立しました。令和になり、2つ目の時代に入ったばかりの新米です。

設立時は10サークルが所属し、32年たった現在は17サークルが所属しております。バドミントン、バレーボール、ビーチボール、バスケット、ジュニアバレーボール、軟式テニス、空手、少年野球、茶道、華道、俳画、漢字書道、かな書道と多種多様です。定例会を毎月22日におこなっており、6月の定例会には総会も兼ねて開催しています。

行事は毎年11月にコミュニティ祭りを実施しており、ビーチボール対抗戦・作品展と日帰りバスハイイクを隔年で行っております。ビーチボール対抗戦ではスポーツの秋を感じ、文化系サークルによる作品展は芸術の秋を感じます。平成30年は20名ほどの参加者がありました。

また、令和元年のバスハイイクは、横浜三溪園見学、中華街で買い物と昼食、キリンビール工場見学、カップヌードルミュージアムではお好みカップヌードルを作ったりと、盛り沢山で楽しい一日でした。

地域行事としては、毎年5月から6月にかけて浅草神社、今戸神社、熱田神社の祭礼があり、8月には近隣7町会連合の盆踊り大会が富士公園でおこなわれ、当委員でも協力しております。

いろいろと紹介いたしました。ご承知の通りこのコロナ禍で、コミュニティの活動はもちろん全て休止！お祭りも盆踊りも中止となってしまいました。今思えば、前号の「コミュニティ台東」では、来るべき東京オリンピックの話題でいっぱい希望ある号でしたが、そのオリンピックも延期となってしまいました。令和2年は寂しい1年となってしまいました。

令和3年は、コロナ禍が収束して、すべての行事が元のように出来ることと、これまで以上にコミュニティ活動が良い方向に発展することを祈ってやみません。

運営委員会 久代 喜志治



今回は運営委員長について、少しお話をします。

前運営委員長が急死し、委員長の選出に困っている時に快く引き受けてくれたのが現・田中清幸運営委員長です。平成31年の3月就任なので、比較的新しい運営委員長ではないかと思われる。

田中運営委員長は芝崎クラブの代表であり、芝崎町中町の青年部長を経て、現在は町会の副会長を務めています。

芝崎クラブは硬式テニスの団体として当委員会に所属しているだけではありません。過去「コミュニティ台東」にて、『浅草ビューホテルのある芝崎町中町の青年部と近隣の町会青年部を中心に組織されたクラブでした。このクラブ、三社祭礼や町会の夏季行事などに大活躍する青年たちの集団であり、町会の諸活動の力強い推進力となっている。』(コミュニティ台東38号より一部抜粋)と紹介されている通り、芝崎町中町会は浅草ビューホテルのある町会であり、もちろん田中運営委員長も三度の飯よりお祭りが大好きときています。

本人曰く、「二束の草鞋を履いてがんばる」とおっしゃっています。その言葉のとおり、運営委員会でも一番目立つ存在になっても頼りになります。

令和2年度は昨年度末からの、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校や地域の行事もそれぞれ中止となり、当委員会でも、今年度のコミュニティ祭りの中止、毎月の運営委員会が開けず、ほぼ活動停止状態になっていました。

しかし、コロナ禍で田中運営委員長の発案により運営委員内でLINEグループを作り、安否(?)確認や区役所からの情報の共有を図っており、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら少しずつ活動を再開し始めております。

運営委員会一同

